

## 1. 評価結果概要表

### 【評価実施概要】

事業所番号	4078800143
法人名	社会福祉法人 やまと医正会
事業所名	グループホーム第二敬和苑
所在地	福岡県柳川市大和町塩塚1388-1 (電話) 0944-76-5556

評価機関名	福岡県社会福祉協議会		
所在地	福岡県春日市原町3-1-7		
訪問調査日	平成20年1月18日	評価確定日	平成20年2月20日

【情報提供票より】 (平成19年12月13日事業所記入)

#### (1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成 16年 10月 1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	14 人	常勤	14人, 非常勤 0人, 常勤換算 14人

#### (2) 建物概要

建物構造	木造 造り
	1 階建ての ~ 1 階部分

#### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	44,000 円	その他の経費(月額)	円	
敷金	有( 円) (無)			
保証金の有無 (入居一時金含む)	(有) (100,000 円) 無	有りの場合 償却の有無	(有) / 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり	1,100 円		

#### (4) 利用者の概要 (平成19年12月13日現在)

利用者人数	18 名	男性	1 名	女性	17 名
要介護1	3 名	要介護2	6 名		
要介護3	5 名	要介護4	4 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 歳	最低 歳	最高 歳		

#### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	藤野医院、千蔵医院、阿部皮膚科、二宮訪問歯科
---------	------------------------

### 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

事業所は学校や市役所支所の近くにあり、道路から少し入った線路沿いに位置している。奥には同法人経営のデイサービスを有するケア付き老人ホームがある。明るく開放的な事業所内からは、電車や車の往来が眺められる。敷地内には良質の温泉の足湯が露天にあり、朝から夕方まで地域の方々が利用され、利用者との交流がもたれている。玄関や外周のフェンス周りには季節の花がプランターに植えられ、花を眺めながら安心して散歩が出来る。お風呂は温泉で気持ち良く、汗をかいた後は職員も一緒に入ることがある。職員の連携が良く取れており、和やかで安心して過ごせる事業所である。

### 【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	前回の評価での改善課題については、申し送りノートの活用や介護計画の改善、緊急時の対応等、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいるが、改善方法や経緯が不明瞭である。今後は方法や経緯を記録してほしい。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価は、管理者及び一部職員で取り組んでいる。全職員で評価の意義や目的を理解し、協議する等して自己評価に取り組んでほしい。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	運営推進会議を定期的に開催し、現状や今後の活動計画、外部評価への取り組み等を報告している。委員からは地域行事等の案内があり、地域行事に参加したり、事業所で折り紙教室を開催して、そこでの意見をサービス向上に活かしている。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部8, 9)
	玄関に意見箱を設置し、入居時に外部機関を含めた苦情相談窓口を説明している。家族来訪時に職員は声かけし、意見等を聴取するように努めている。苦情相談窓口は、事業所だけでなく外部機関も含めて幅広く家族等へ繰り返し説明してほしい。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	地域行事に参加し、近隣小学校との交流やボランティアの受入れがある。事業所敷地内に足湯があり、利用者と地元の人々との交流の場となっている。また、事業所便りを民生委員児童委員、区長、運営推進会議委員へ配布している。

項目番号		項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
外部	自己				
<b>【I 理念に基づく運営】</b>					
<b>1. 理念の共有</b>					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念  地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	事業所独自の理念をつくりあげ、利用者のケアに努めているが、地域密着型サービスの視点が加わっていない。	○	全職員で協議等を行い、これまでの理念に加えて、地域密着型サービスの視点を加えた理念をつくりあげてほしい。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み  管理者と職員は、理念を共有し理念の実践に向けて日々取り組んでいる	朝夕の申し送り時に理念を唱和し、事業所便りにも理念を載せ、言葉かけ等、実践に向けて日々取り組んでいる。	○	地域密着型サービスの視点を加えた理念をつくりあげて、それを全職員で共有し、理念の実践に向けて、日々取り組んでほしい。
<b>2. 地域との支え合い</b>					
3	5	○地域とのつきあい  事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域行事に参加し、近隣小学校との交流やボランティアの受入れがある。事業所敷地内に足湯があり、利用者と地元の人々との交流の場となっている。また、事業所便りを民生委員児童委員、区長、運営推進会議委員へ配布している。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	○評価の意義の理解と活用  運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価は、管理者及び一部職員で取り組んでいる。前回の評価での改善課題については、申し送りノートの活用や介護計画の改善、緊急時の対応等、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいるが、改善方法や経緯が不明瞭である。	○	全職員で評価の意義や目的を理解し、協議する等して自己評価に取り組んでほしい。また、外部評価の改善課題を书面化して、全職員で一つひとつの改善方法や経緯について具体的に意見交換し、協働しながら改善して、改善シートとして保存してほしい。
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議を定期的に行い、現状や今後の活動計画、外部評価への取り組み等を報告している。委員からは地域行事等の案内があり、地域行事に参加したり、事業所で折り紙教室を開催して、そこでの意見をサービス向上に活かしている。		

項目番号		項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
外部	自己				
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	事務処理について行政担当者に相談する等の交流はあるが、事業所の近況等を話すまでの連携には至っていない。	○	事業所の現状を報告する機会をつくる等し、行政とともにサービスの質の向上に取り組んでほしい。
7	10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	制度に関して、一部職員は外部研修を受講している。利用者・家族等への説明は特に行っていない。	○	制度に関する研修の機会を持ち、利用者や家族への情報提供ができるよう、全職員の制度への理解を深めてほしい。
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
8	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	2ヶ月に1回、事業所便りを発行している。家族等来訪時に、暮らしぶり・健康状態等を報告し、緊急時には電話で状況報告をしている。金銭管理については、家族等と話し合い、個々に合わせた支援をしている。		
9	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関に意見箱を設置し、入居時に外部機関を含めた苦情相談窓口を説明している。家族来訪時に職員は声かけし、意見等を聴取するように努めている。		
10	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	異動は母体法人全体で行われている。	○	利用者が馴染みの職員の支援が受けられるように、異動を最小限に抑える努力をしてほしい。また、やむを得ず代わる場合は、引継ぎ期間を十分に設ける等して、利用者へのダメージを防ぐよう配慮してほしい。

項目番号		項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
外部	自己				
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
11	19	<p>○人権の尊重</p> <p>法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を発揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している</p>	<p>職員の募集・採用にあたっては、性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。事業所で働く職員についても、配置、昇進、教育訓練、定年等、特に差別はない。</p>		
12	20	<p>○人権教育・啓発活動</p> <p>法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる</p>	<p>全職員は人権に関する内部研修を受けている。また一部職員が外部研修を受講し、伝達研修を行っている。</p>	○	<p>研修記録を残し、資料等は職員がいつでも確認出来るように事業所で保管してほしい。</p>
13	21	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>運営者は日常的に学ぶことを推進し、職員各自に応じた学びの機会を設けることに努めている。母体法人の勉強会で発表の場があり、外部研修の案内等をしている。</p>		
14	22	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>地域の同業者との交流の機会が薄い。</p>	○	<p>運営者は全職員が同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていくよう取り組んでほしい。</p>
<b>【Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援】</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
15	28	<p>○馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>利用開始前に、事業所の見学や病院、施設等への訪問を行っている。やむを得ず即利用となった場合は、家族の来訪を頻繁にしてもらったり、一時帰宅して再び利用してもらう等、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。</p>		

項目番号		項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
外部	自己				
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
16	29	<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>料理や掃除等を共に行い、漬物漬け等、職員が知らない生活の技を利用者から教えてもらう場面がある。畑仕事、縫い物、書等、利用者の得意分野では力を発揮してもらい、職員と利用者が共に過ごし、支えあう関係を築いている。</p>		
<b>【Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント】</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
17	35	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>日々の関わりの中で、職員は利用者に声をかけ、希望や意向の把握に努めている。意思疎通の困難な利用者には、表情等から思いを汲み取り、家族等から情報を得るようにしている。</p>		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
18	38	<p>○チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>利用者・家族の思いを聴取し、全職員で検討して、利用者・家族の希望にそった個別具体的な介護計画を作成している。</p>		
19	39	<p>○現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>6ヶ月に1回、また利用者の状態変化や状況に応じて、介護計画を見直している。</p>		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
20	41	<p>○事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>利用者が入院した場合は、見舞いを行い、事業所・家族・利用者・医療機関と連絡・連携を図って、早期退院へ向け支援している。</p>		



項目番号		項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
外部	自己				
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
21	45	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者・家族の希望する医療機関への受診を支援している。通院や送迎は家族で行うとの取り決めはあるが、都合により柔軟に対応している。		
22	49	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化や終末期のあり方について方針があり、家族等へ入居時に説明している。利用者・家族等の意向を大切にしながら、本人・家族等、かかりつけ医・職員で話し合い、合意を図って、全員で方針を共有している。		
<b>【IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援】</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1) 一人ひとりの尊重</b>					
23	52	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	プライバシーについて研修等で全職員の意識化を図っている。また、職員会議で諸場面での声かけや対応について確認し、日常的にプライバシー確保に心がけ、ケアを実践している。		
24	54	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な一日の流れはあるが、一人ひとりの体調に配慮しながら、その日のそのときの本人の気持ちを尊重している。		
<b>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
25	56	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者と職員は、一緒に準備や食事、片付けを行っている。食事は同一テーブルで、利用者と同じ物を食べ、その日の献立の話をする等して、さりげなく介助しながら楽しく食事をしている。		

項目番号		項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
外部	自己				
26	59	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>大まかな入浴時間の設定はあるが、利用者の希望等にあわせて、柔軟に対応して入浴を楽しめるよう支援している。入浴拒否する利用者には、タイミングや意向、希望に応じて、入浴を楽しめるように支援している。</p>		
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
27	61	<p>○役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>利用者の生活歴や興味等を活かし、料理・裁縫・書道・生花等、役割や楽しみごとを支援している。</p>		
28	63	<p>○日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>天気や利用者の体調や希望に応じて、週2～3回、散歩や買い物に出かけている。また、利用者の誕生日には外食をし、ドライブではお茶を楽しむ等、戸外に出かけられるよう支援している。</p>		
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>					
29	68	<p>○鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>日中、居室や玄関を施錠していない。職員は利用者の外出傾向等を把握しており、見守り等を行っている。近隣へ見守りや声かけをお願いしている。</p>		
30	73	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>マニュアルを整備している。年2回、消防署の協力による避難訓練を実施し、運営推進会議を通じて地域住民に参加協力を呼びかけている。また、非常用食料や飲料水、備品等を準備している。</p>		

項目番号		項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
外部	自己				
<b>(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b>					
31	79	○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量の記録が全利用者分ある。献立は利用者の嗜好を考慮し、月1回、栄養士による専門的アドバイス・チェックを受け、栄養のバランスにも配慮して職員が作成している。	○	一人ひとりの水分摂取量について、大まかに把握してほしい。
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
<b>(1) 居心地のよい環境づくり</b>					
32	83	○居心地のよい共用空間づくり  共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	家庭的雰囲気な家具を設置し、季節の花や利用者の作品を飾っている。不快と感じる音や光はなく、居心地よく過ごせるような工夫をしている。		
33	85	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	各居室は家族写真、手芸品、時計、仏壇、使い慣れた日用品等を持ち込み、利用者の希望により置敷きにする等、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。		

※  は、重点項目。